

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成28年 7月 5日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	① 男性 ② 女性
	住 所	岐阜県 関ヶ原 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代		
	情報の種類	① 意見 ② 要望 ③ 情報提供 ④ 質問		
	回答の希望	① 教育委員会の回答を希望 ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 部活動について			
<p>新学期がスタートしてもうすぐ夏休みです。どこの中学校も中体連の大会に向けて頑張っていることと思います。</p> <p>今の時代、生徒や先生は部活動をする意義をどのようにとらえているのでしょうか。最近、新聞に部活動について記載されていることが多いです。その内容は、顧問の先生に指導する能力がない・選ぶ種目が限られている・チームとして人数が足りない等、負の活動として報告されています。どうしてこのようになってしまったのでしょうか？</p> <p>私が中学生だった頃や私の子どもが中学生だった頃には、このような問題はありませんでした。ただ、子どもがやりたがっている種目がなかったため、新しい種目として加えてほしいと当時の校長先生にお願いにあがったこともありましたが、応じてもらえず実現はしませんでした。仕方なく、部活とクラブを両立して中学生生活を終え、高校で野球を部活として続けることができました。</p> <p>スポーツは種目が違っていても基礎は一緒だと思います。武道は1人以上いれば部活として成立しますが、チーム種目は成立しません。それに加えて指導できる先生がいない。運動することが嫌い・勉強する時間がなくなる・人間関係(先輩、後輩)が嫌だといった理由で積極的に活動している生徒は少ないように思います。私は時々、地元の中学校へ部活のお手伝いに行っていますが今年度はバレー一部に人数が偏ってしまい、過去最高の16人になりました。その中には、スポーツ少年団経験者もいますが、半分以上がバレーを授業以外でやったことのない生徒です。そんな生徒たちに対して2人の若い先生と2人の地元のバレー指導者とサポーターの私でそれぞれの時間があるときに、生徒と一緒に活動をしています。町の教育委員会でも学校支援ボランティアとして登録を呼びかけ、サポートできる体制を整えていただいています。この制度を利用して積極的に子どもたちと関わることは地域の人にとってもやりがいがあってよいことだと思います。これからも先生や子どもたちの応援団として活動したいと考えています。また、生徒にとってもプラスになる部活動であってほしいと思います。</p>				